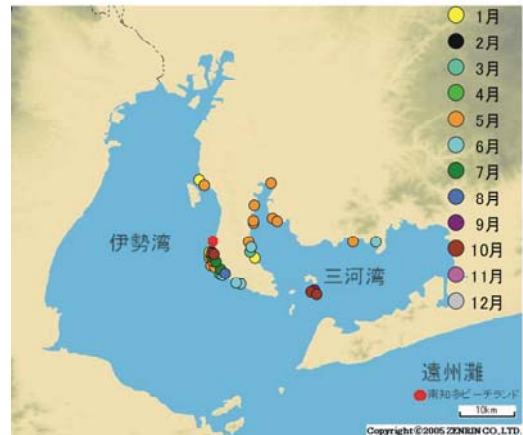


2010年に漂着した海棲哺乳類について

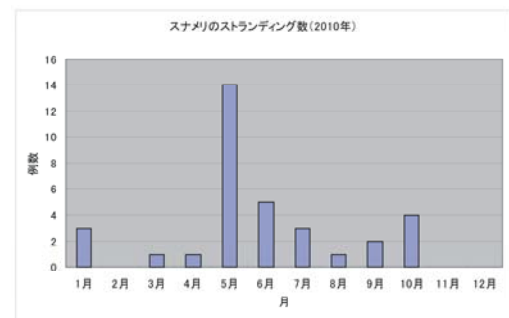
南知多ビーチランドが2010年1月から12月まで取り扱った海生哺乳類は合計34例で、全てスナメリでした。海岸に漂着したものが31例、混獲（佐久島沖）によるものが3例で、全て死亡していました。全34例のうち伊勢湾19例、三河湾14例、河川（矢作川河口）1例でした。2010年は、渥美半島での漂着はありませんでした（図1）。これは、ビーチランドの取り扱いがなかったためであり、漂着がなかったということではありません。性別では雄14例、雌15例、性別不明が5例でした。

〔図-1〕 月別死亡漂着箇所



月別では1月が3例、3月、4月が1例、5月が最も多く14例、以後8月まで減少し9月が2例、10月が4例でした。11月と12月はありませんでした。（図2）。また、可能な限り体長測定しましたが、体長が計測できたものは31例でした。最小体長は66.0cm、最大体長は175.0cmのオスでした。特に体長100cm未満の新生仔は15例と全34例中44.1%を占め、9例が5月、4例が6月でした（写真1および写真2）。これらの個体は、腐敗が進んでいたものが多く、死亡原因は特定できませんでした。

〔図-2〕



〔写真-1〕



〔写真-2〕



2010年は特に5月に死亡漂着が14例と多く、ほぼ2日に1回という頻度での対応となりました。幸い、新生仔が多かったのもその作業は大変ではありませんでしたが、体の大きな個体は作業が大変になります。大人のスナメリは体重が60kg程になるので、波打ち際や岩場に打ちあがっていると移動するだけでも一苦勞です。さらに、穴を掘って埋めなければならないのでその作業だけでも大変です。特に7月8月は炎天下での作業になるので熱中症にも気をつけなければなりません。2010年は猛暑続きでしたが、7月と8月は運良く例数が少なかったのも熱中症になることもありませんでした。逆に冬季は冷たい風の中での作業になるので、しっかりと防寒対策をする必要があります。このように漂着したスナメリの対応は大変な作業になりますが、その死体からは様々な情報が得られるので、もし、海岸や港で死亡したスナメリなどを発見した場合は、是非ご連絡下さい。